

14

ナルニア国物語 2

ライオンと魔女と衣装だんす

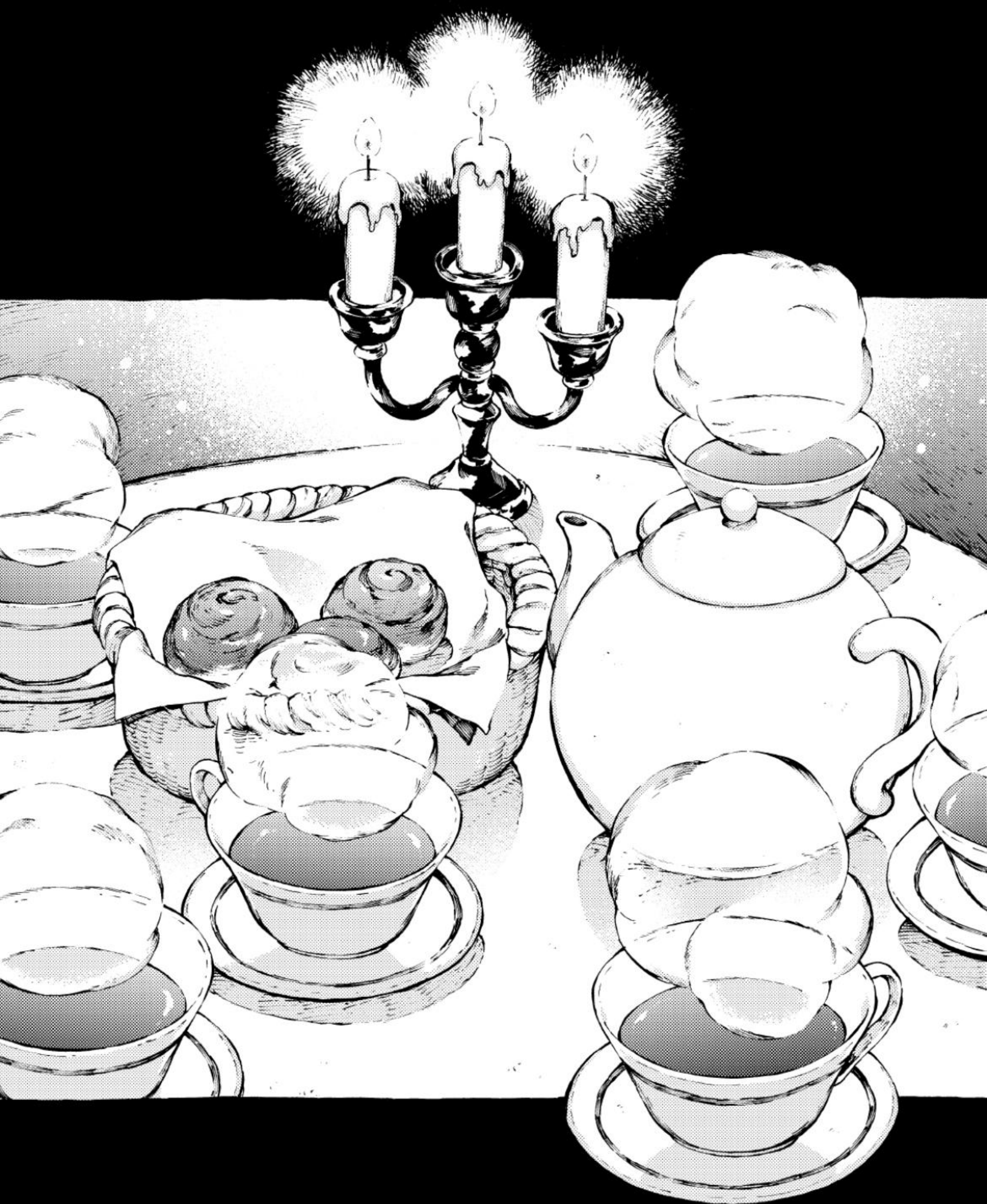
C・S・ルイス

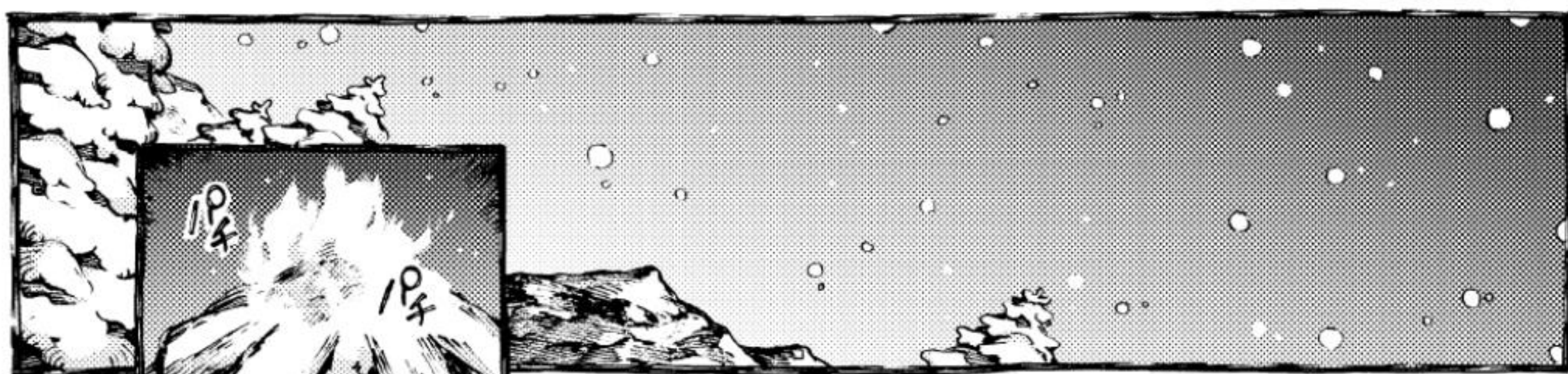
土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

第14話 昼食のあとで起こったこと(前編)





それで



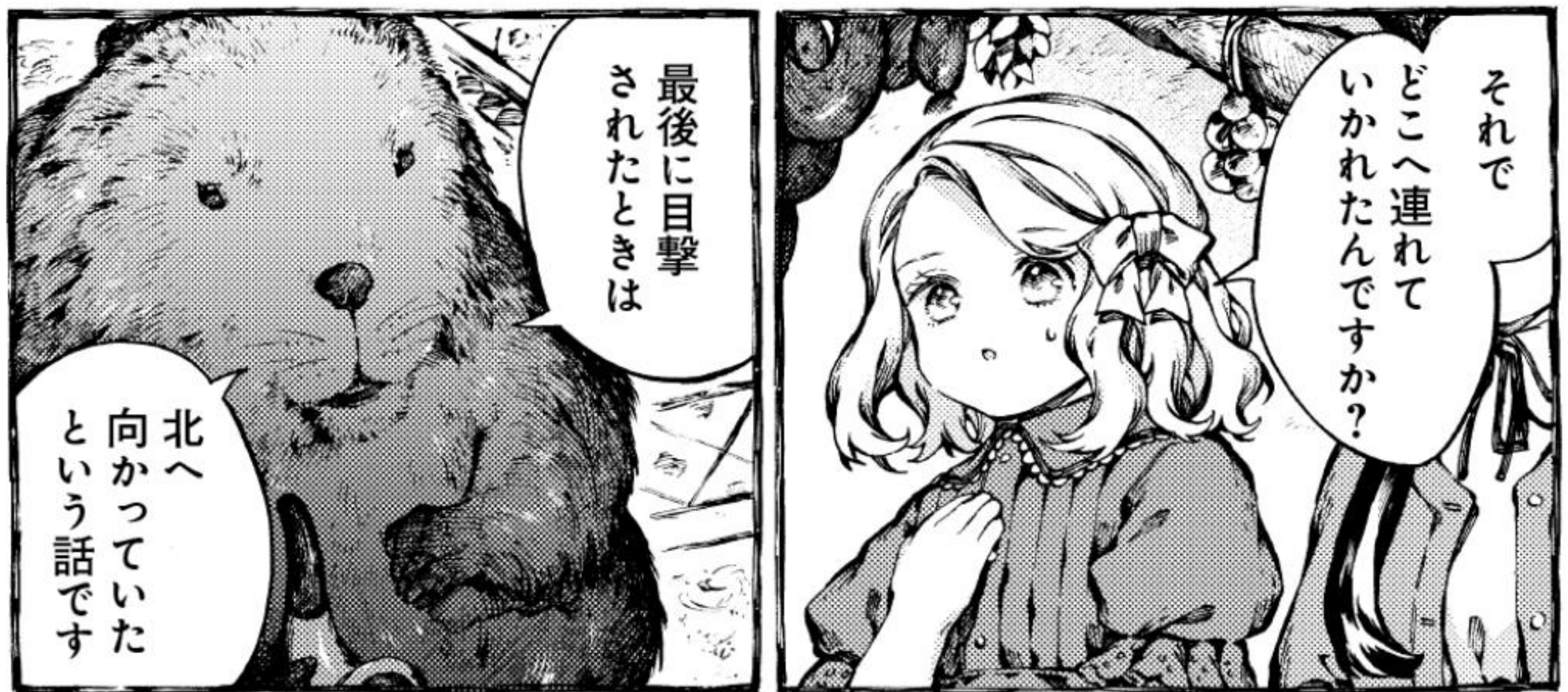
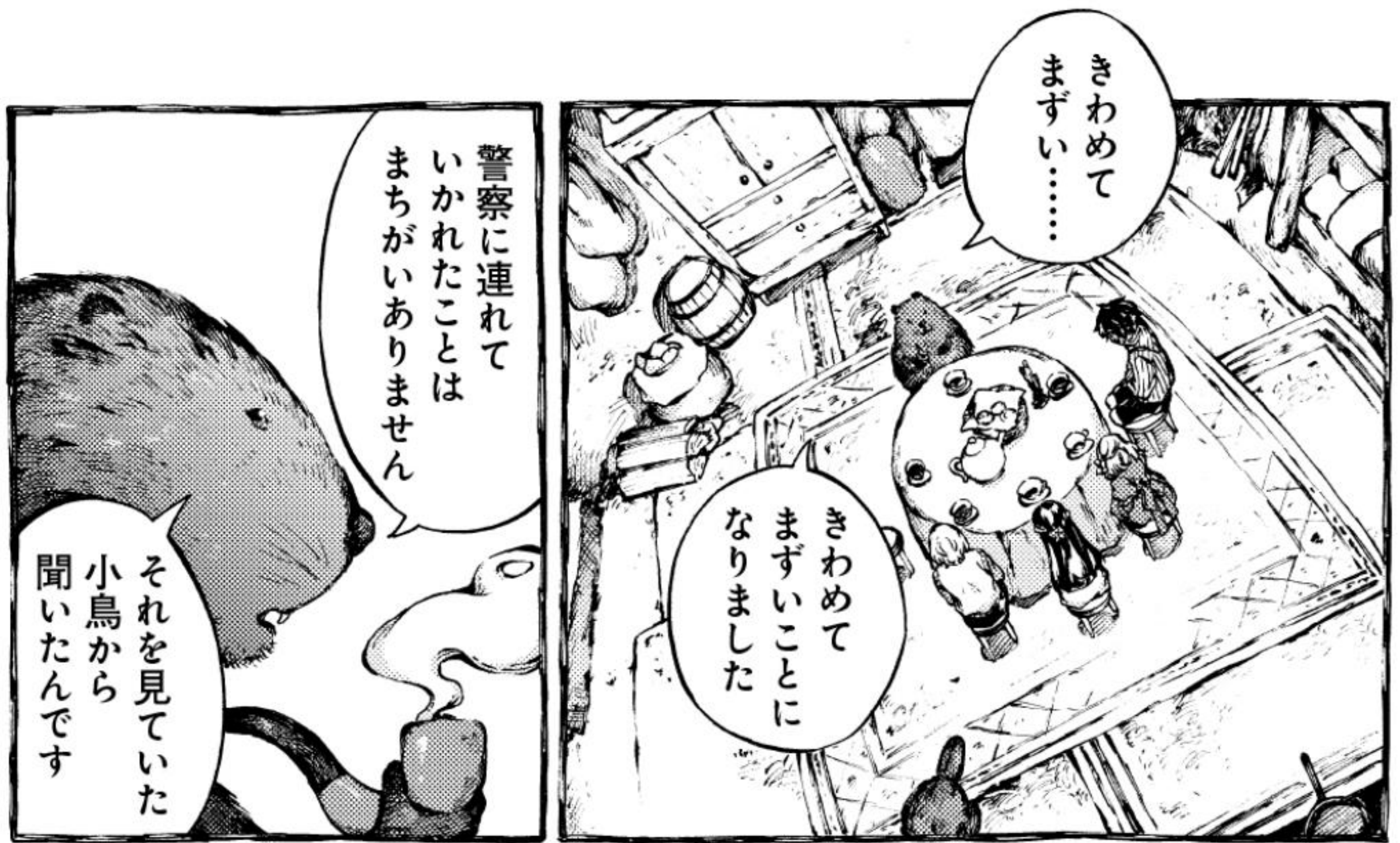
タムナスさんは
どうなったん
ですか？

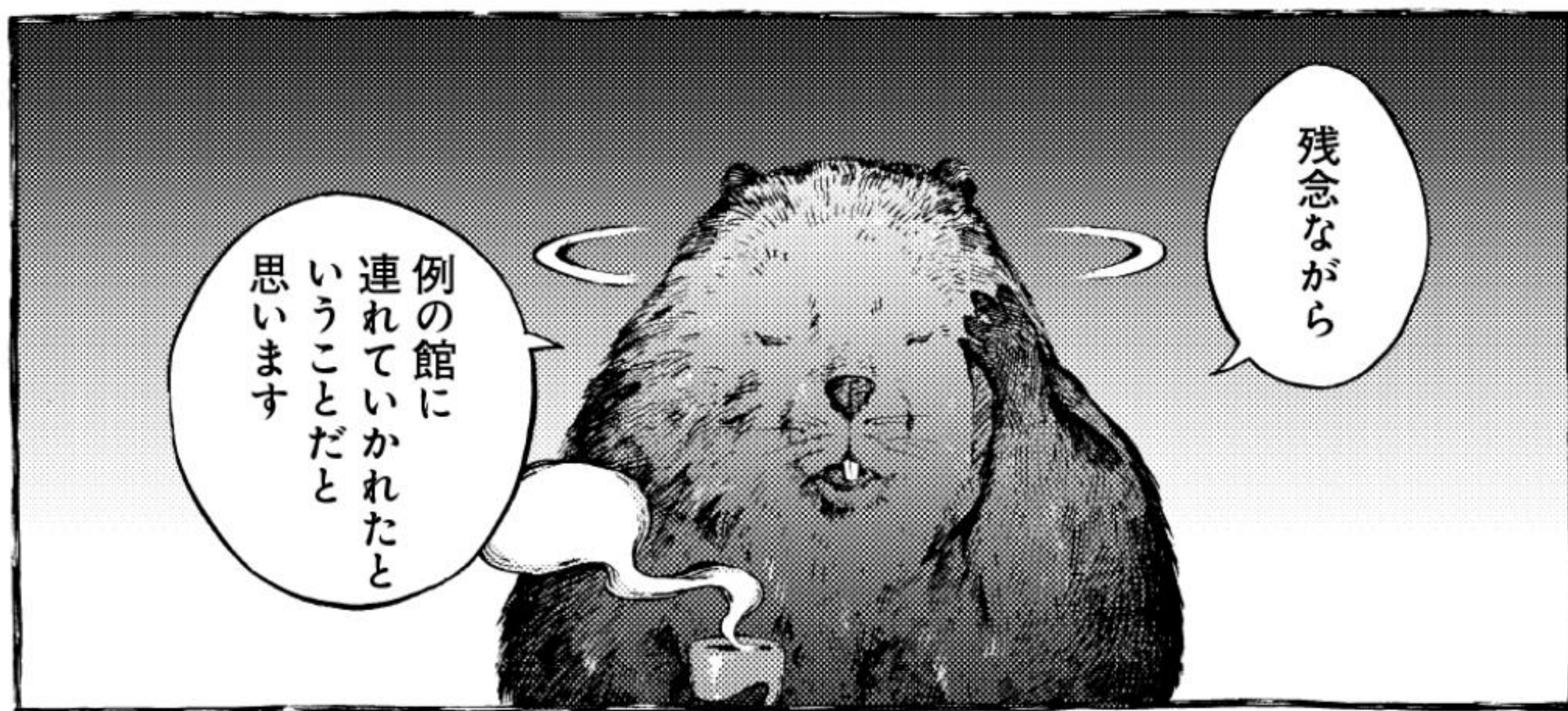


ひどいことに
なりました



聞かせて
ください







あの館は
石像だらけだとい
う
話です

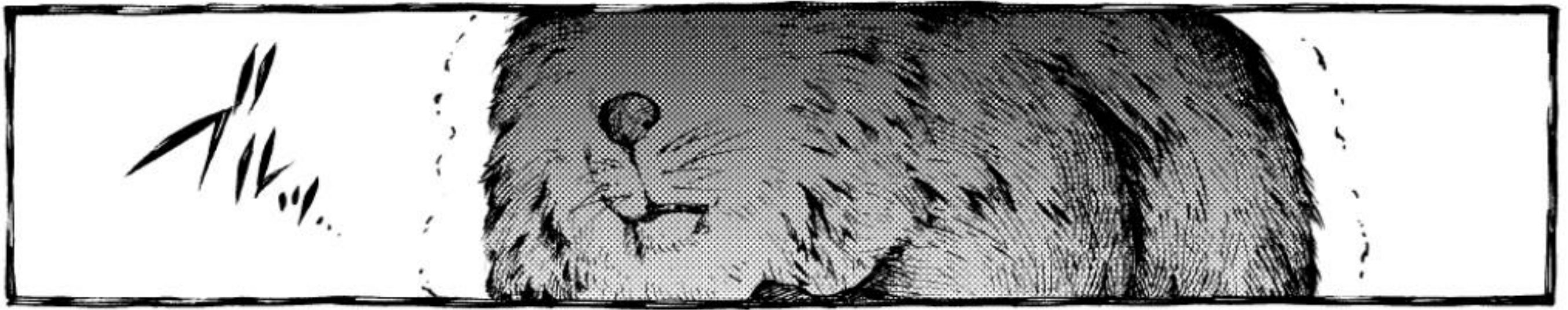
中庭も

上の広間も

階段も

みんな

石に――



——石にされて
しまうのです

でも
ビーバーさん

わたしたち
何か
できないん
ですか？



こんな
恐ろしい
こと……



わたしたち

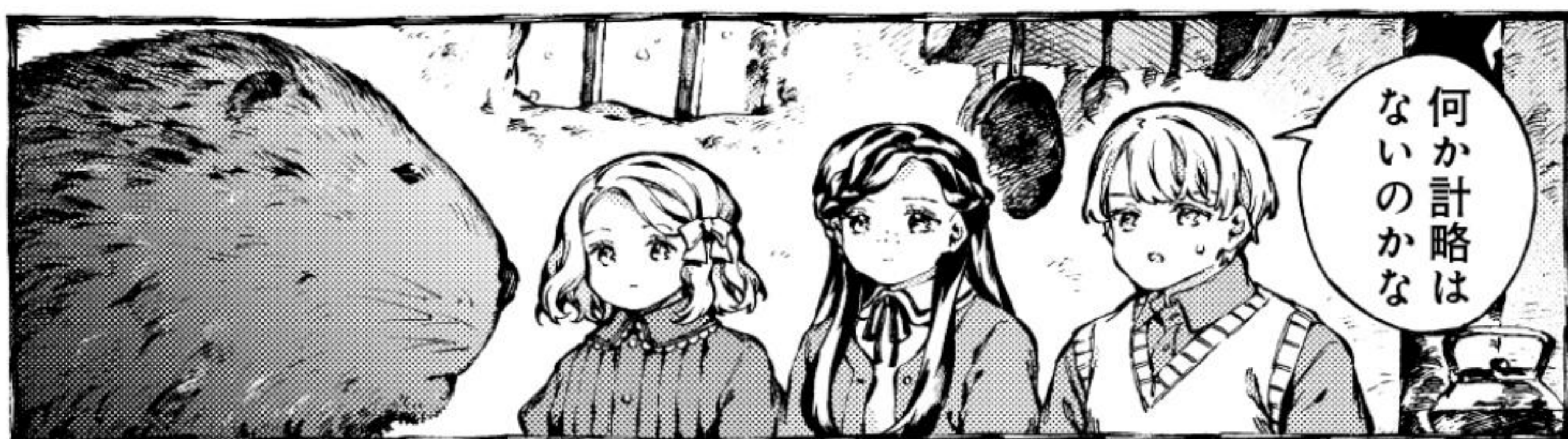
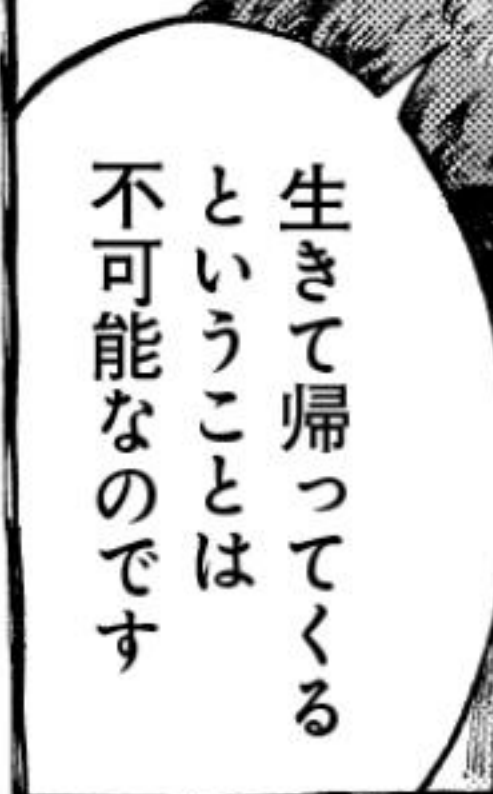
タムナスさんを
助けるために
何かしなくちゃ



……それに

ぜんぶ
わたしのせい
なんだもの

お嬢さん





……くそっ

何か方法があるはずだ

そのフオーンは
身の危険を
おかして
妹を救って
くれたんです

ビーバーさん



それなのに
こんなふうに――

こんな
ふうに――



……こんな目に
遭わせておく
わけには
いかないんです

アダム
の息子さん

それは
だめです



誰
あろう

あ・な・た・が・
助・け・に・い・く・と
い・う・の・は

だ・め・で・す

そ・う・だ・!

でも
いまはもう
アスランが
動きはじめて
いますから――

アスランの
ことを
教えて
ください!

アスラン
って

何者
なんですか？

アスラン？

知らないん
ですか？

アスランは
王です

この森の
創造主です











アスランは
ライオンです

ライオンの中の
ライオン

偉大なる
ライオンです















以前にもこの地に
アスランが
来たという話は
聞いたことが
あります

——ずっと
むかしの話で

誰も
正確なことは
知りません

だって

魔女は
人間じゃ
ないんですか？

でも
あなたがたの
種族が
ここへ来たのは
初めてです

ビーバーさん

ぼく

そのところが
わからないんです

人間だと
思わせたがって
いるようです
けどね

自分は人間だから
女王になれるのだと
主張していますが

あれは
イヴの娘
なんかじゃ
ありません

あいつは

あなたがたの
父祖アダム

最初の妻であった
リリスの血を
引いています

リリスは
ジン*です

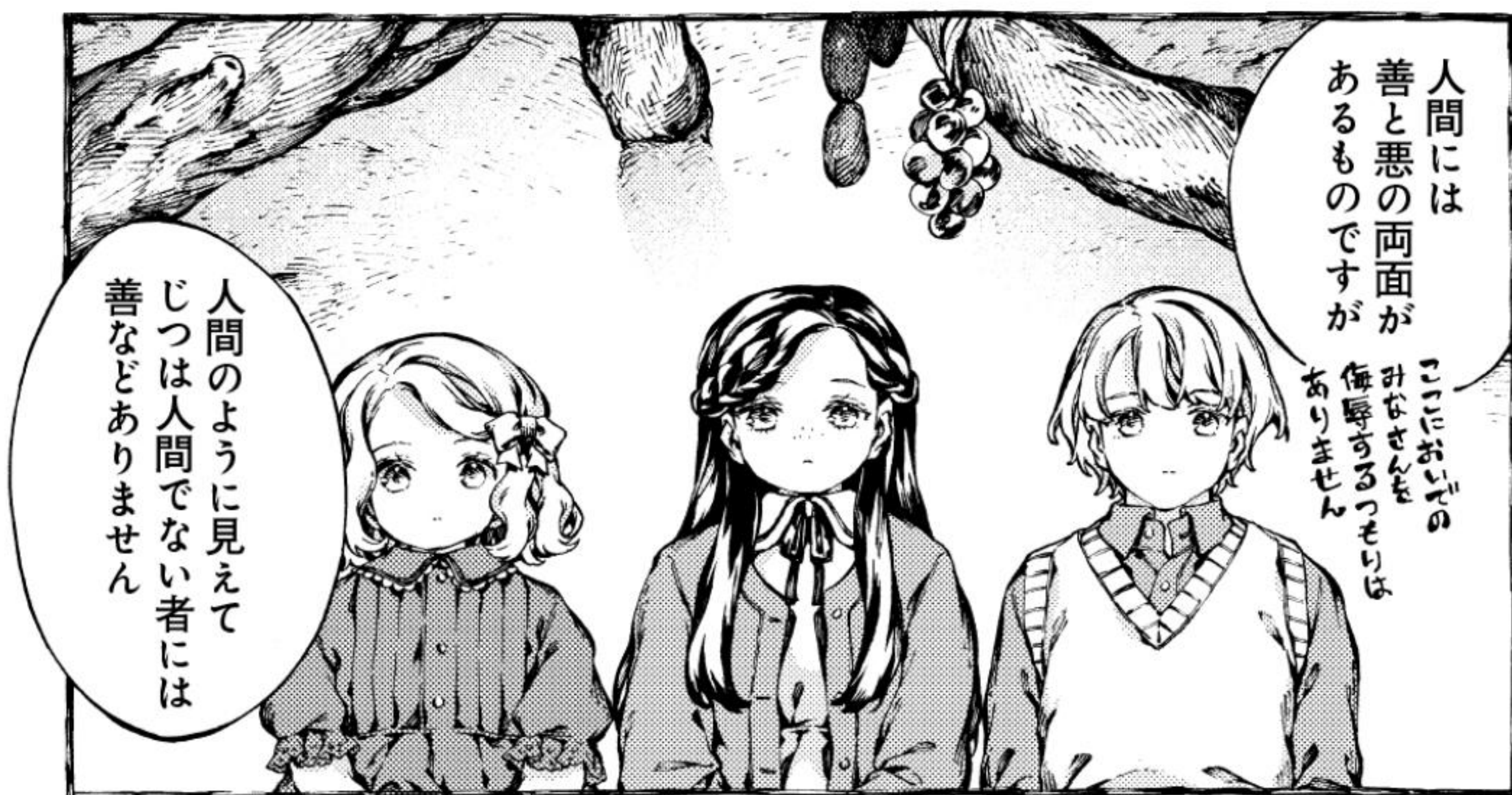
それが
一方の血

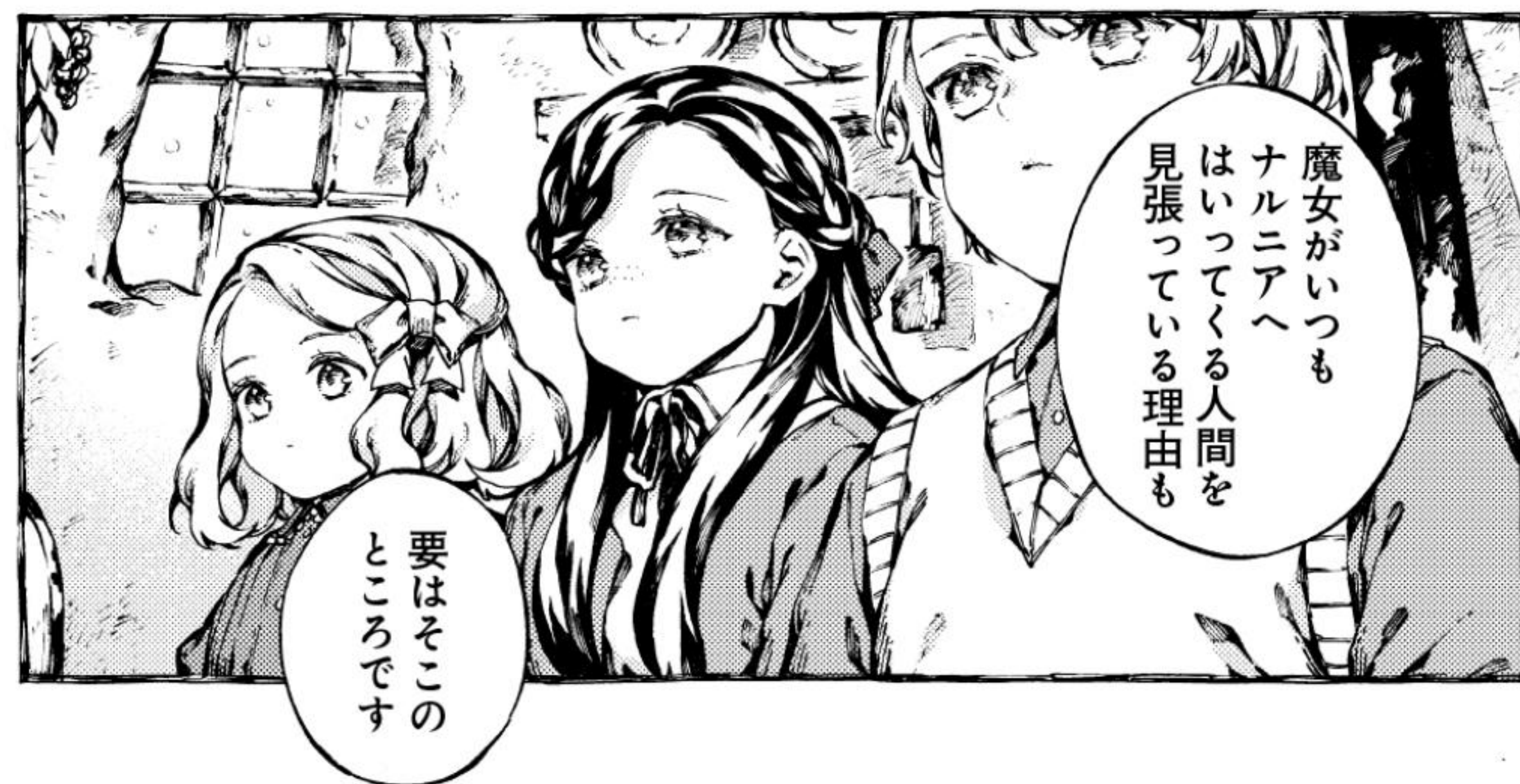
もう一方は

巨人です

あの魔女の
からだには 人間の血は
一滴たりとも

流れていないのです







魔女は
これまで
ずっと

あなたがたの
ことを
警戒して
いました

あなたがたが
四人だと知ったら

魔女は
なおいつそう
危害を加えようと
するでしょう



もう一つの予言が
あるからです



四人だと
いうことと
何の関係が
あるのですか？



ケア・パラヴェル
には……

この川を下って行って
海に出るところに
建っているお城で

世が世なら
それがこの国の
都となるべき
お城なのです――

――ケア・パラヴェル
というのは
お城のことです

…とにかく
ケア・パラヴェルには
王座が四つあって

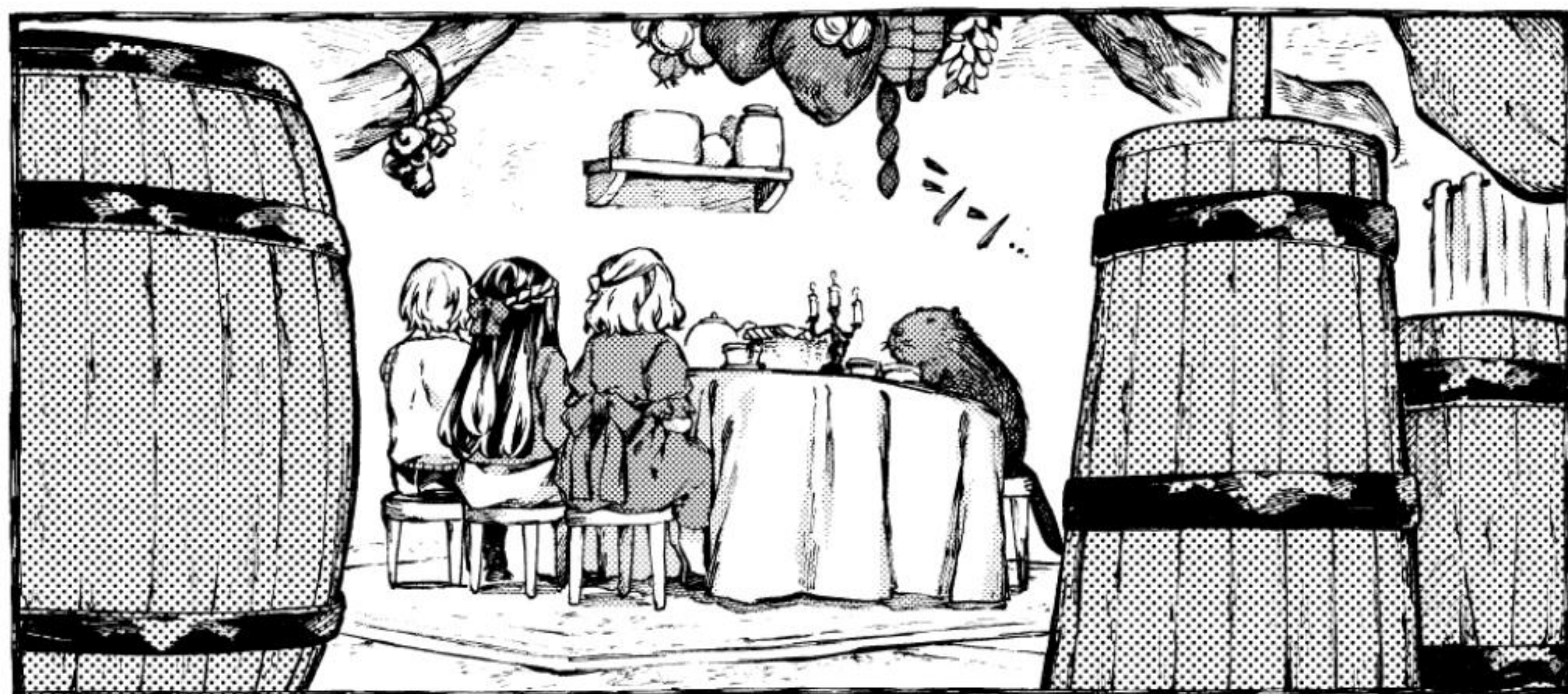
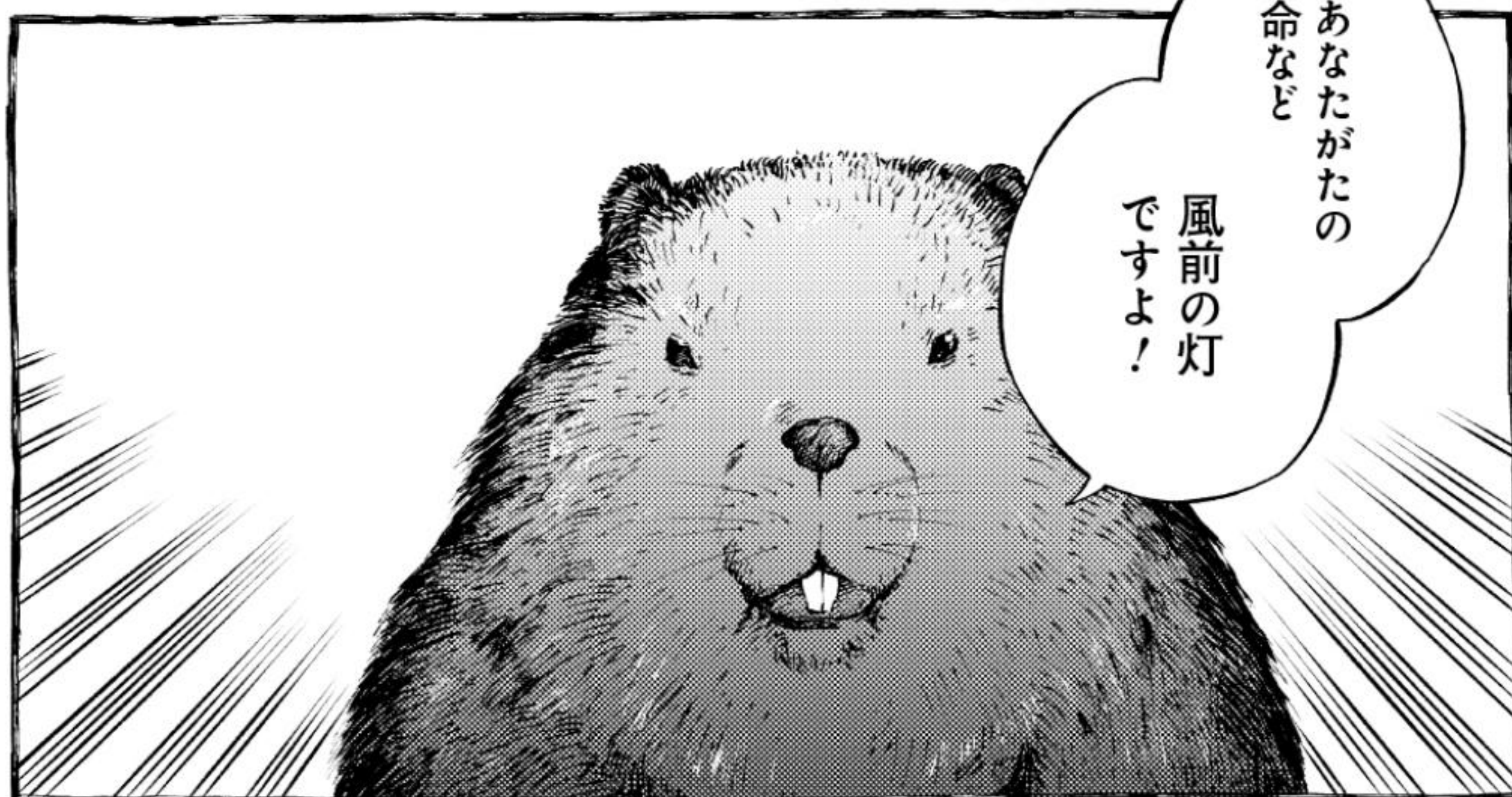
アダムの息子二人と
イヴの娘二人が
その王座に就いたとき

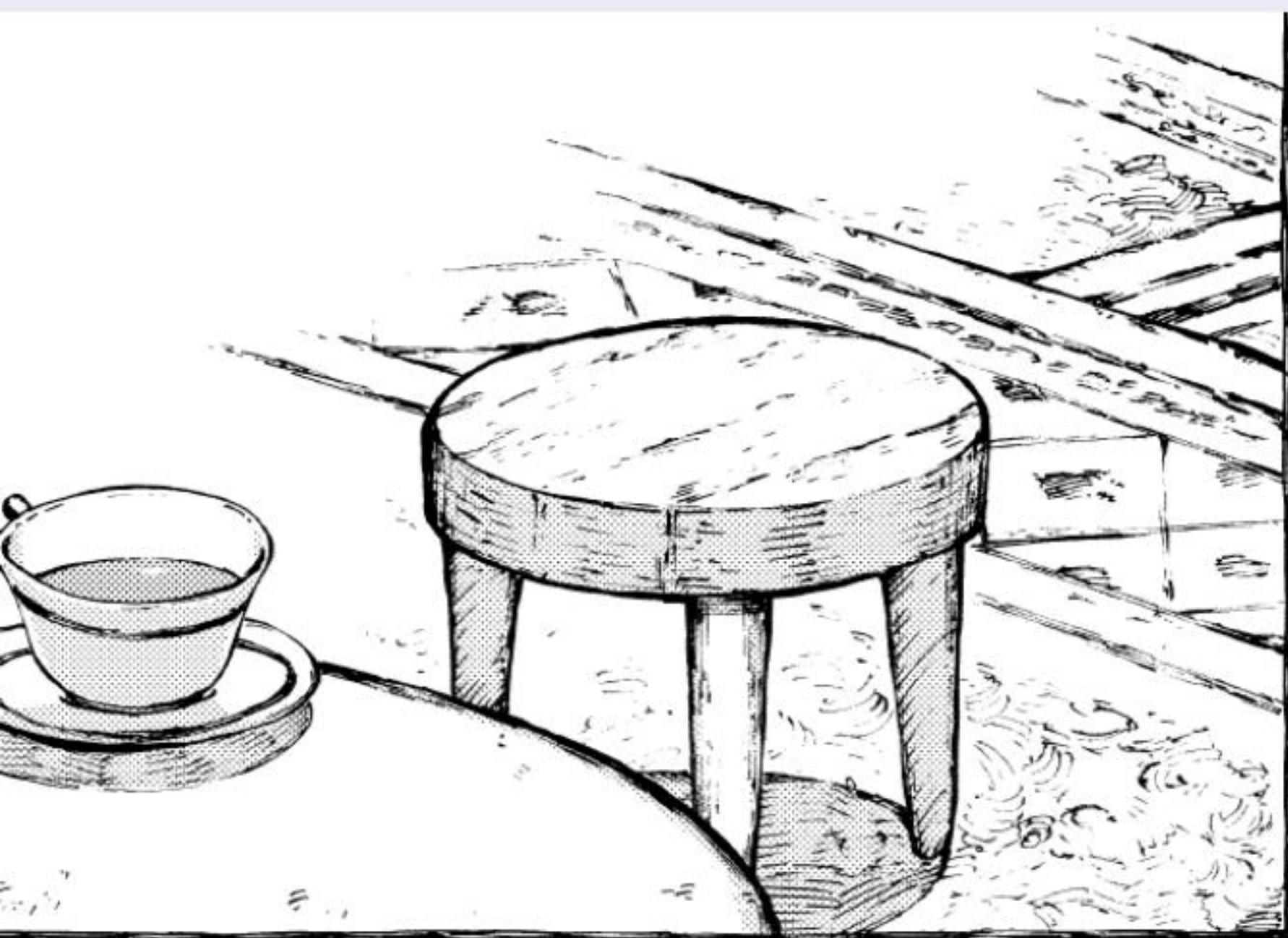
白い魔女の支配が
終わるとともに
白い魔女の命も尽きる

という言い伝えが
太古のむかしから
ナルニアにはあるのです

だから
ここへ来る道々

あんなに
警戒して
きたのです





.....
ねえ

